



育苗センター 花の駅通信

お問い合わせ
83-3356

花を長く楽しむために

育苗センターでは、春に撒いた夏花の種が芽吹き、何千もの小さな苗をポットに移す鉢上げ作業が続いていて、1年で最も忙しい時期を迎えています。そして、気温が高くなるこれからの時期は、小さなポットの中の土はあっという間に乾いてしまい、水やり作業を一日中行わなければ苗は枯れてしまいます。このように、花を咲かせるには大変な労力が必要です。せっかく大切に育てた花たち…。できるだけ長くきれいに咲かせたいですね。今回はそのためのひと手間をご紹介します。

今、育苗センターのハウスでは夏花の定番『マリーゴールド』と『サルビア』が咲いています。どちらも丈夫で花期が長い植物ですが、『**摘心**』と『**切り戻し**』という作業を行うとより多くの花を長く楽しむことができます。

| | |
|---------------|--|
| 摘心とは | 茎の先端をカットして脇芽の成長を始めさせることです。1本の茎が2本に、2本が4本に増えるためボリュームのあるしっかりとした苗に成長し、花の数も増えます。 |
| 切り戻しとは | 少し弱ってきた株を思い切って半分くらいに切ってしまい、株自体を再生させることです。ぱさぱさ切ってしまうことで新しい茎と葉が出てきて株がきれいになり、新たに花を咲かせてくれます。ただし、ある程度の大きさに戻るまでは花が咲かないので行う時期が大切です。夏前に一度切ってしまうと夏の終わりから秋にかけてもう一度花を咲かせてくれるでしょう。 |

ペチュニアやインパチェンスなども同じように摘心と切り戻しをした方が良い花です。一年草の花は、短い寿命の間に持っているエネルギー全てを使ってきれいな花を咲かせます。ぜひこのひと手間をかけてあげてください。

今月の水やりアドバイス

この時期の晴れた日には、鉢植えの土はあっという間に乾燥します。朝と涼しくなったからの夕方、水が鉢底から出るまでしっかり水をあげてください。暑い時間帯にあげると、鉢の中で水が熱くなり根を痛めてしまいます。

屋内の植物は常に"土の表面が乾いたら"たっぷりあげるのが原則です。少しずつ水やりをしていつも土が湿ったままだと、根や土に酸素が行き渡らず呼吸ができなくなり、根腐れの原因になります。

7月の営業日時

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

午前10時～午後4時（日曜祝祭日定休）
東神楽町南2条東2丁目 中央保育園裏
※網かけされている日はお休みです
※休店日など変更する場合がございます

